

第171回 福岡日伊協会 映画鑑賞会のご案内

福岡日伊協会では、第171回映画鑑賞会を下記にて開催いたしますのでご案内いたします。

記

- 日 時：2016年4月4日（月）19:00～21:00
 - 会 場：あじびホール（福岡アジア美術館8F） TEL092-263-1100
（福岡市博多区下川端町3-1 リバレイセンタービル）
 - 入場料：無 料 先着120名（直接会場へお越しください）
 - 問合せ：福岡日伊協会 担当 井口
TEL 092-476-2153（西日本シティ銀行内）
- ※20時以降 美術館は閉館につき入館できませんのでご注意下さい。
※館内での飲食は厳禁ですのでご注意下さい。

<作品紹介>

追悼 エットーレ・スコーラ監督 『あんなに愛しあったのに』 (1974年 123分)

監 督	／ フェデリコ・フェリーニ	出 演	／ アルベルト・ソルディ
脚 本	／ F・フェリーニ		ブルネッタ・ボーヴォ
	トゥリオ・ピネッリ		レオポルド・トリエステ
	エンニオ・フライアーノ	撮 影	／ アルトゥーロ・ガッレア
音 楽	／ ニーノ・ロータ	美 術	／ ラッファエロ・トルフォ

エットーレ・スコーラ監督が、今年1月19日、ローマ市内の病院で亡くなりました。享年84歳。何気ない日常を、名もなき市井の人々に焦点をあてて描いた作品を得意としそれはイタリアの歴史であり、ネオレアリズムであり、喜劇であり、そしてやわらかな社会風刺でもありました。監督スコーラの正直で謙虚な思いが銀幕に溢れています。今回の追悼作品「あんなに愛しあったのに」は、大戦中のイタリアでレジスタンスの同志だった3人の仲間の戦後を、30年間にわたり描いたスコーラの代表作です。偶然の再会と別離が繰り返される愛のドラマでもあり、映画の中で「甘い生活」が再現され、F・フェリーニとM・マストロヤンニも特別出演し、尊敬するV・デ・シーカに捧げられています。どうぞお楽しみに。

(解説 湯越 勘一)